

藤沢市議会 6月定例会

一般質問がはじまります 本会議傍聴においで下さい

改選後初めての、藤沢市議会6月定例会が始まっています。4常任委員会が終わり、今週から本会議で一般質問が始まります。今回の一般質問は27人が通告しています。改選後初めての議会と言ったこともあり最近では最も多い議員が質問します。4月20日(木)から4月26日(水)まで行われます。日本共産党藤沢市議会議員団は4人全員が一般質問を行います。ぜひ、傍聴にお出かけ下さい。日程・内容をお知らせします。

山内幹郎議員
6月20日(木)
(午後3:30頃から)

1. 保育行政について
 - ①待機児解消について
2. 選挙の投票率向上に向けて
 - ①低投票率をめぐる諸課題について
3. 辻堂のまちづくりについて
 - ①辻堂東海岸2丁目NTT跡地の開発について

土屋俊則議員
6月24日(月)
(午後3:30頃から)

1. 村岡地区のまちづくりについて
 - ①村岡新駅建設と周辺の開発事業は中止することについて
 - ②湘南ヘルスイノベーションパーク(旧武田薬品工業湘南研究所)について

味村耕太郎議員
6月21日(金)
(午前3:30頃から)

1. 教育の充実について
 - ①給付型奨学金制度の拡充について
2. 善行地域のまちづくりについて
 - ①善行市民センター再整備について
 - ②善行乗り合いタクシーについて

柳沢潤次議員
6月25日(火)
(午後3:30頃から)

1. 国民健康保険について
 - ①社会保障としての国民健康保険制度の改善と運用について
 - ・保険料を引き下げることについて
 - ・窓口の民間委託をやめることについて
 - ・滞納者対策は実態把握を中心に

一般質問の開始時間は前の質問者によって変わります。連絡下さい

福祉・子育て施策など33事業削減方針について、藤沢市に質問書を提出し懇談!

藤沢市社会保障推進協議会

日本共産党藤沢市委員会も入っている藤沢市社会保障推進協議会(大山正雄会長)は、6月13日(木)、「市が発表した見直し検討33事業」について質問書を提出し、懇談を持ちました。懇談には「社保協」から8人が参加しました。議員団からは土屋俊則議員が参加しました。

介護職関連で働いている参加者からは特別養護老人ホームやすでに削減された藤沢市の給食サービスについて、現場からのリアルな状況が語られました。また、財政問題に関連して、村岡新駅建設と周辺の開発事業に対して「コンクリートと鉄のまじりにするな」と開発ありきのまちづくりへの批判も出されました。

懇談は、藤沢市が高齢者・障がい者福祉や子育て支援策などの33事業を削減しよ(こと)ting(こと)に対し、医療・介護関連10事業について質問書を提出し、懇談したものです。「見直し基準」は国・県補助を上回って実施している事業などを軒並み改悪しよ(こと)するもので撤回を強く求めました。

「『見直し検討33事業』の撤回を求める請願」の署名用紙ができました。署名活動にご協力をお願いします。

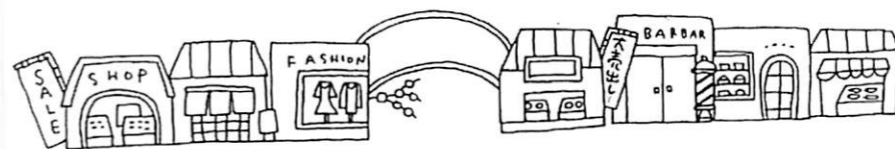


ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください



日本共産党 藤沢市議会報告

No.276
2019年6月18日(連絡先) 電 (25) 1111 (内) 5649
ホームページ) <http://www.ne.jp/asahi/jco/fujisawa/>
(E-mail) f-kyosan@cityfujisawa.ne.jp



「幼児教育・保育の無償化」から外さないで下さいの陳情2件を子ども文教常任委員会で審議!

幼児教育施設(幼児教室)とは

幼児教室は高度経済成長期に地域で幼稚園が不足したことなどをきっかけに、保護者、保育者、地域の方々が特色のある幼児教育を共同で作り育ててきた50年以上の歴史があります。幼児教室は子ども自身で考え、行動する自然と触れ合う自由な遊びを大切に、発達に遅れや偏りがあったり、認可園を断られた子どもたちの受け皿ともなっており保育ニーズに応える重要な役割を担っています。

幼児教育・保育の無償化は政府が消費税10%への増税をこまかすために、国民の教育・子育ての切なる願いを逆手にとった対策の一つです。「無償化」の問題点は、①消費税を財源にしていること。②全ての幼児教育施設と保育園が対象になっていないこと。所得に関係なく全ての幼児が対象になっていないことなど、重大な問題がある制度です。

幼児教育・保育の無償化は、消費税10%への増税が財源

国への意見書を求める陳情には879人、市に要望する陳情は963人の署名が添えられています。藤沢市は陳情審議にあたって、5月10日、子ども子育て支援法の一部改正が国会で成立したことに伴い、10月1日実施になっている「無償化」への対応を報告しました。

無償化から外されれば経営が成り立たなくなると切実な思いが!



保護者と同じ補助」を求めた陳情に対し、藤沢市は、「段階的に支援する」と答弁しました。採決では賛否同数(左表参照)になり、公明党の委員長が趣旨不了承の採決をし残念な結果になりました。

○国への意見書提出を求める陳情は全会一致で趣旨了承

○藤沢市に幼稚園同等の支援を求める陳情は委員長裁決で趣旨不了承

陳情2件は「全幼児に幼児教育・保育の無償化を願う神奈川県幼稚園類似施設の会」(代表・モンテッソーリ鎌倉子ども家インターナショナル園長 加藤允基氏) から提出されたものです。子ども文教常任委員会で審議され、国への意見書提出を求めた陳情は全会一致で趣旨了承になりました。しかし、藤沢市に対して引き続き「幼稚園通園児の保護者と同じ補助を」求める陳情は賛否同数になり、委員長裁決で趣旨不了承になりました。

今回、陳情が出た幼児教育施設(幼児教室など)が無償化から外されているのに対し、「認可外保育所は無償化の対象になっているのに、認可外の幼稚園が無償化から外されるのはおかしい」との疑問が出るのは当然です。無償化が実施されれば「経営が成り立たなくなる可能性がある」との切迫した思いからの陳情でした。

藤沢市議会は「無償化」に対する国への意見書をすでに昨年の12月議会で採択しています。今回の国に対する陳情も全会一致で趣旨了承になりました。

6月議会子ども文教常任委員会での陳情に対する各会派の態度

陳情の要旨	共	民	市	湘	公	ア	結果
「幼児教育・保育の無償化制度」に関し、国への意見書提出についての陳情。〈神奈川県幼稚園類似施設の会(略称)提出〉	○	○	○	○	○	—	全会一致 趣旨了承
藤沢における幼児教育・保育の無償化についての陳情。〈神奈川県幼稚園類似施設の会(略称)提出〉	○ 1人	○ 3人	× 2人	× 1人	× 1人 +委員長	—	賛成4・反対4 委員長裁決の結果 趣旨不了承

共：日本共産党(4人) 民：民主無所属クラブ(10人) 市：市民クラブ藤沢(9人) 湘：ふじさわ湘風会(7人)
公：藤沢市公明党(5人) ア：アクティブ藤沢(1人) ○：賛成 ×：反対 △：継続 —：該当委員なし

市に藤沢市に幼稚園同等の支援を求める陳情も全会一致で趣旨了承になりました。